

2020年度あさひ事業所評価（職員）の結果

2020年11月実施 職員18名

あまりできていない、できていないが4人以上の項目

（Ⅲ 支援体制を整えている）

9 サービス提供に必要な人員を配置している。

→あまりできていない4、できていない1、わからない1

12 職員の知識・技術の向上のために、研修等の機会を確保している。

→あまりできていない4、できていない0、わからない0

13 職員間での意思疎通、支援内容の共有等を行うための時間や機会を日常的に確保している。

→あまりできていない4、できていない0、わからない0

（Ⅵ 業務改善の仕組みがある）

26 サービス提供時に得られた事柄を、マニュアルや手順書の見直しに反映させている。

→あまりできていない4、できていない0、わからない1

分からないが5人以上の項目

なし。

【 評価の結果から今後取り組むこと 】

（支援体制の整備について）

9 サービス提供に必要な人員について、配置できていないという意見があるため、基準上では足りているが実際のどの場面で不足していると感じているのかを把握して、必要があれば業務の見直しを行っていく。

11 職員の研修参加機会の確保については、職場内の勉強会の開催を引き続き継続して対応する。また、2020年度から始まった施設内多職種合同学習会への積極参加を推奨する。外部研修で適切なものがあつた場合の参加機会の確保も課題とする。

13 職員間での話し合いの機会が少ないと感じている職員がいるため、短時間でのミーティングが繰り返しできるような業務体制を検討する。

26 マニュアルや手順書の見直しについて不足しているようなことがあれば、小さなことであってもグループリーダーや役職者にその都度申し出ることとする。

（その他、利用者の社会参加、地域連携、地域の社会資源の活用について）

社会参加、地域連携、地域の社会資源の活用については、今年度、新型コロナウイルス感染拡大により取り組み自体を停止していた。今後、感染の状況を見た上で「社会参加」や「地域連携」、「地域の社会資源の活用」についてどのような形ができるのか、検討していくこととする。